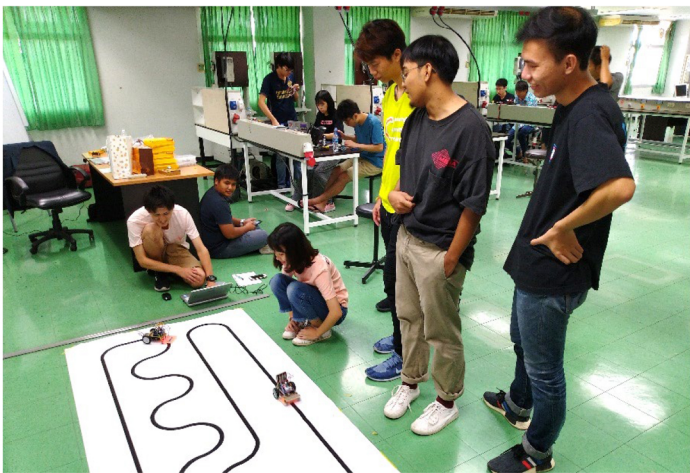


工学部 グローバル PBL 第2弾 タイ・バンコク プログラムを実施！

工学部は、グローバルな社会で活躍する技術者を育成するために、各学科の専門科目及び関連科目を学習し、その専門知識や技能をグローバルな環境で活用することを前提に、限られた期間内に協定校等の海外大学で海外の学生と一緒に具体的な課題を主体的に解決するグローバル PBL（国際的課題解決型学習）を一昨年から展開しています。今年度は工学部では4プログラムを用意し、夏休み期間を中心に、工学部学生がそれぞれ約2週間の期間で、海外協定校において、滞在先の海外学生と一緒にグローバル PBLに参加しています。



ライントレース・ロボットの試験走行の様子

8月19日（月）～29日（木）の期間に、本学の海外協定校の一つであるタイ・モンクット王工科大学ラカバン校（KMITL）において、工学部グローバル PBL（Project Based Learning）の第2弾が実施されました。本プログラムには、本学の電子情報工学科から6名の学生（2年：井本泰聖さん（宗像高）、2年：大神達哉さん（筑前高）4年：木村成美さん（高松中央高）、古其豊さん（真嶋館高）、権藤偉央利さん（小倉工業高）、古川貴之さん（大学入学資格検定））が参加し、KMITL のタイ人学生10名、ならびに、マンダレー工科大学（MTU）のミャンマー人学生6名と共同で、「Design of a line follower robot and its function extension（ライントレース・ロボットの設計とその機能拡張）」に取り組みました。

プログラムの実施において、本学学生、KMITL 学生、ならびに、MTU 学生は、1グループ3～4名で構成される6つの混成チームに分かれ、英語での議論を行いながら、組込み機器のプログラミング、ライントレース・ロボットの作製、および、センサーを用いたロボットの機能拡張に取り組みました。プログラムの最終日には、参加全員学生が英語によるプレゼンテーションで素晴らしい成果を発表し、参加校の教授陣から高い評価を得ました。なお、本プログラムは、JASSO の海外留学支援制度（協定派遣）の補助事業として実施されています。



日・泰・緬の混成グループによる開発風景



g PBL タイ・プログラム修了者

○ KMITL での PBL の様子を動画でご覧いただけます。 <https://youtu.be/aGfLsVGeqB0>

掲示期間 2019-105
9月02日～9月20日

この件のお問い合わせは広報課へ